

# 令和4年度

## 社会福祉法人あま市社会福祉協議会

### 事業報告書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

#### ■ 報告概要

あま市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織として、あま市や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開しております。

新型コロナウイルス感染症による世界的なパンデミックの発生から3年あまりが経過し、ワクチン接種が進む一方、変異株の出現による感染拡大が警戒される事態も乗り越え、マスク着用も個人の判断に委ねられるなど、少しずつではありますが、感染の終息に向かいつつあります。

一方、福祉の現場においては、利用者の生命と健康を守るため、厳戒態勢を緩めることはできない状況の中で、生活福祉資金貸付制度などを通じて顕在化した生活困窮に陥っている方々への個別支援に注力し、各課・各事業所において、日常生活への援助を継続して行うなど、きめ細かい伴走型の支援を実施してきました。

また、経済格差などに伴う貧困問題の深刻化、家族や地域社会の絆の希薄化、社会・経済情勢の変化に伴い福祉を取り巻く環境は大きく変化するなど、今まで以上に複合的な課題やコロナ禍の影響を受け複雑化した課題に対し、既存の福祉制度の狭間から生じる社会的な課題解決に向けて、コミュニティや市民の皆様へ寄り添い、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、関係機関などの皆様と協働して問題解決に努めてまいりました。

今後も感染予防対策を行い、コロナ禍以前の地域福祉活動を取り戻せるよう、少しずつ歩みを進めております。

令和4年度における重点目標に掲げました「福祉人材育成事業」については、昨年に引き続き、あま市において不足している介護・障がい福祉分野の人材確保のため、「介護職員初任者研修」を実施して福祉人材育成に努めました。

介護保険事業・障がい福祉サービス事業では、利用者不足による安定的な経営が困難となり、やむなく七宝福祉作業所（就労継続支援B型事業）が廃止に至りました。

次年度以降の更なる関連事業所の廃止などに向けた協議を重ねるとともに、廃止後の利活用による目標を定め、関係機関との調整を進めてまいります。

なお、その他、以下の各種事業の実施に努めました。

## ■ 報告内容

### (1) 企画・広報事業

#### ①まるっとあま（社協だより）

市民に対して本会の活動状況及び事業等の情報を発信するとともに、より見やすく、親しみやすい情報誌の作成に努めました。

◆発行 年4回（4月・7月・10月・1月）

◆作成部数 146,970部

内訳 4月 36,650部 7月 36,670部

10月 36,800部 1月 36,850部

令和3年度

作成部数 146,500部

内訳 4月 36,450部 7月 36,600部

10月 36,700部 1月 36,750部

#### ②ホームページ（スマートフォン対応）

随時更新することで、日頃の社協活動をはじめ、福祉に関する情報提供を行うことや各種申請書等もダウンロードできるように利便性の向上に努めました。

◆閲覧件数 11,560件

令和3年度

閲覧件数 14,041件

#### ③SNSの活用

LINE公式アカウントを使用し、登録をされている方々に本会の活動状況及び事業等の福祉の情報を積極的に発信し、認知度の向上や事業参加の促進等に努めました。

◆登録者件数 877件

令和3年度

登録者件数 807件

#### ④マスコットキャラクターの作成

マスコットキャラクター、「あーちゃん」と「まーちゃん」を作成し、ホームページや広報誌にて活用し、あま市社会福祉協議会の認知力の向上を図りました。

#### ⑤福祉出前講座の推進

出前講座を通じて、本会の事業や取組に対し職員を講師として派遣を行い、地域福祉への関心を高め、市民との協働による地域福祉活動と啓発活動の推進を図ることを目的に実施しました。

◆出前回数 4回

令和3年度

出前回数 1回

## (2) 地域福祉推進事業

### ① 会員募集

地域福祉の推進を図るため、必要な事業財源を確保することを趣旨として、強化月間（6月に法人会員年額1口3,000円、7月に普通会员年額1口500円）として実施しました。

あま市における新型コロナウイルス感染状況を鑑み、法人会員募集については、銀行振込による依頼や職員が訪問して加入に努めました。

また、普通会员募集については7月、10月に各区会を通じて協力を依頼しました。

|       |        |            |
|-------|--------|------------|
| ◆法人会員 | 473件   | 2,458,000円 |
| 普通会员  | 6,773件 | 4,832,867円 |
| 令和3年度 |        |            |
| 法人会員  | 444件   | 2,304,670円 |
| 普通会员  | 7,276件 | 5,020,550円 |

### ② 配食サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、食事を作ることが困難な方を対象に、毎週月曜日から土曜日（週6回まで利用可能）までに1食400円の負担金にて弁当の宅配を行い、合わせて安否確認を実施しました。

|       |           |     |     |             |
|-------|-----------|-----|-----|-------------|
| ◆登録者数 | 76人       | 実人数 | 66人 | (令和5年3月31日) |
| 配食数   | 合計 9,425食 |     |     |             |
| 令和3年度 |           |     |     |             |
| 登録者数  | 58人       | 実人数 | 55人 | (令和4年3月31日) |
| 配食数   | 合計 5,078食 |     |     |             |

### ③ 寝具洗濯乾燥消毒サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、老衰、心身の障がい及び傷病等の理由により、寝具類の衛生管理が困難な方を対象に、費用無料で寝具の乾燥・消毒を年4回（4月・8月・10月・2月）、洗濯（※1回につき掛布団・敷布団・毛布4枚まで）を年2回（6月・12月）実施しました。

|       |     |     |      |
|-------|-----|-----|------|
| ◆登録数  | 79人 | 利用数 | 270件 |
| 令和3年度 |     |     |      |
| 登録数   | 75人 | 利用数 | 287件 |

### ④ 車いすの貸出

市内に居住する他制度を利用できない方で、傷病等により車いすを一時的に必要とする方を対象に、1か月を期限として無料で車いすを貸出しました。

|      |      |
|------|------|
| ◆利用数 | 240件 |
|------|------|

内 訳 本 所 108件 美和支所 75件 七宝支所 57件  
令和3年度

利用数 194件

内 訳 本 所 109件 美和支所 40件 七宝支所 45件

#### ⑤福祉教育の推進

福祉教育を推進するため、市内の小学校、中学校、高等学校を社会福祉協力校に指定し、児童・生徒が車いす、手話、点字等の体験を通じて学ぶ福祉実践学習の機会を提供すると共に、新たな試みとして「総合的な学習」時間を活用し、美和小学校、甚目寺東小学校、七宝北中学校の児童、生徒に対して、社会福祉協議会の活動啓発と福祉教育の必要性について講演を実施しました。

##### ◆社会福祉協力校数

小学校 12校 中学校 5校 高等学校 2校

##### ◆福祉実践教室延べ参加数 2,417人

小学校 1,105人 中学校 820人 高等学校 492人

6月9日(木) 美和中学校 224人

6月10日(金)

6月15日(水) 美和東小学校 62人

6月17日(金) 甚目寺東小学校 103人

6月30日(木) 七宝北中学校 46人

7月6日(火) 美和小学校 193人

7月15日(金) 秋竹小学校 69人

9月9日(金) 七宝中学校 115人

10月26日(水) 五条高等学校 307人

11月2日(水) 宝小学校 74人

11月9日(水) 甚目寺小学校 81人

11月11日(金) 甚目寺南中学校 189人

11月15日(火) 正則小学校 129人

12月7日(水) 伊福小学校 44人

12月12日(月) 美和高等学校 185人

12月15日(木) 甚目寺中学校 246人

12月20日(火) 甚目寺西小学校 75人

1月20日(金) 甚目寺南小学校 123人

2月24日(金) 篠田小学校 152人

令和3年度

福祉実践教室延べ参加数 2,447人

小学校 1,151人 中学校 805人 高等学校 491人

#### ⑥福祉団体の育成・援護

市内6団体に対して支援を行い、活動の強化及び向上を図りました。

- ◆団体名 ・老人クラブ連合会 ・子ども会連絡協議会
- ・身体障害者福祉協会 ・心身障害児者保護者会
- ・母子寡婦福祉会 ・遺族連合会

#### ⑦たすけ愛協力店

地域福祉活動の推進にご協力いただける市内の店舗、事業所等を「たすけ愛協力店」と位置付け、身近なところに福祉に関する情報やたすけ愛チャリティボックス等を設置することにより、広く市民の皆様へ福祉の理解を深めていただくことを目的として実施しました。

- ◆設置数 42件
- 令和3年度
- 設置数 42件

### (3) 共同募金配分事業

#### ①ふれあい・いきいきサロンの支援

地域に居住する高齢者の方等が、生きがい・健康づくりを気軽に行うことができ、地域交流やたすけあい活動を育む活動拠点として、サロン活動を推進するために必要な相談支援及びサロン運営費の補助を行いました。また、知多市社協とのサロン実践者交流会を開催して情報交換を行いました。

- ◆サロン数 27会場
- 内 訳 甚目寺地区 8会場 美和地区 9会場
- 七宝地区 10会場
- 令和3年度
- サロン数 29会場

#### ②ボランティア団体への補助

市内における、無償福祉ボランティアの活動支援を目的として、補助金を交付しました。

- ◆補助対象 無償福祉ボランティア団体（9団体）
- 手話サークル七宝 ○手話サークルじもっ子
- 手話・あま ○手話グループ美和
- 手話サークルさくらそう ○音訳あま
- 点訳あいうえお
- 美和おはなしグループゲー・チョコキ・パー
- 特定非営利活動法人あま市防災ネット

令和3年度

補助対象 無償福祉ボランティア（8団体）

③車いす専用車の貸出

傷病等により歩行や車両の乗り降りが困難なあま市内に住所を有する方、または親族があま市に住所を有する方に対し費用無料で車いす専用車の貸出を行い、日常生活の便宜や社会参加の促進を図りました。

◆利用数 98件

内 訳 通院 78件 その他外出 20件

令和3年度

利用数 97件

④親子防災体験事業

市内に住所を有する小・中学生及びその保護者を対象に、防災に関する知識を身につけ意識を高めるとともに、体験を通して参加者相互の交流を深めることを目的に実施しました。

◆期 日 8月6日(土) ◆場 所 甚目寺総合体育館

◆参加数 32人(大人13人・子ども19人)

⑤心身障がい児・者クリスマス会

市内に居住する療育手帳所持者を対象に、参加者相互の交流及び親睦を深めるために、あま市甚目寺総合福祉会館にてクリスマス会を開催しました。

◆期 日 12月3日(土) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加数 82人

⑥あまのかけあしS(移動援助サービス事業)

市内に居住する75歳以上の単身世帯、高齢者世帯であり、単独で外出が困難で、家族や親族の協力等を得ることができない方で利用時に介助者の同行が可能な方を対象に、市内を実施範囲として月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時(3時間以内を制限)の月2回までを限度として、ボランティアによる移動援助サービスを実施しました。

◆登録数 24人 ◆利用数 86回(延べ)

令和3年度

登録数 15人 利用数 98回(延べ)

⑦小・中学校入学児童生徒への祝品

《小学校入学児童祝品》

市内における小学校へ入学する児童を対象に、学校生活において必要な文房具類を祝品として支給しました。

◆支給数 747件

令和3年度

支給数 779件

《中学校入学生徒祝品》

ひとり親世帯等を支援するため、市内外における中学校へ入学するひとり親世帯等の生徒を対象に図書カードを祝品として支給しました。

◆支給数 32件

令和3年度

支給数 32件

⑧ボランティア団体福祉啓発活動助成事業

赤い羽根募金配分金を活用し、地域における福祉的課題に取り組む活動団体に対し、公募助成を行いました。

◆交付団体

助成を希望する交付団体はありません

令和3年度

あま市アレルギーの会（7万円助成）

⑨福祉人材育成事業

介護・障がい福祉分野における福祉人材確保のため、未経験介護職希望者に対し、介護職員初任者研修を行い、あま市内における福祉人材不足の解消と就労の機会を提供しました。

◆期 日 11月5日（土）から2月25日（土）の15日間

◆受講者 13人

令和3年度

受講者 8人

(4) ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方とボランティア活動に来てほしい方を繋げ、ボランティア活動の機会を広く提供すると共に、ボランティア活動の輪を広げ、情報の提供や各種講座を開催し、地域支援活動に関するボランティア相談や支援を行いました。

◆登録者数 個人 131人 団体 107団体（1,978人）

令和3年度

登録者数 個人 119人 団体 115団体（2,011人）

①ボランティアセンター運営委員会

ボランティアセンターの事業推進及び機能充実を図るため、運営委員会を設置し、ボランティア事業について協議をするとともに、今後のボランティアセンターにおける方向性等を検討し、ボランティア活動の活性化に努めました。

◆運営委員会 3回開催

◆期 日 第1回 5月11日（水） 第2回 9月5日（月）

第3回 2月3日（金）

◆会 場 甚目寺総合福祉会館

令和3年度

運営委員会 2回開催

期 日 第1回 11月24日(水)

第2回 コロナ禍による開催中止、令和4年2月に書面会議  
を実施しました。

会 場 甚目寺総合福祉会館

## ②ボランティア養成講座の開催

あま市で必要とされるボランティア活動の推進を図るため、総合事業に係る生活支援も含めたボランティア養成講座を開催しました。

○ボランティア養成講座

◆期 日 8月10日(水)

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講数 17人

○手話奉仕員養成講座

◆期 日 4月23日(土)から1月21日(土)の34日間

◆場 所 甚目寺総合福祉会館及び大治町総合福祉センター希望の家

◆受講数 25人

○傾聴ボランティア養成講座

◆期 日 10月29日(土)

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講数 28人

○ガイドヘルプボランティア養成講座

◆期 日 1月28日(土)

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講数 8人

## ③安心支え合いネットワーク事業

市内に居住する65歳以上の単身世帯、高齢者世帯を対象に「見守り、声かけ、お助け、安心電話」の活動からなる、ボランティア活動を実施しました。

◆ネット員登録者数 141人

◆利用登録者数 181人

◆利用サービス別人数 見守り 36人 声掛け 33人  
お助け(ゴミ出し・買い物支援) 23人  
安心電話 89人

令和3年度

ネット員登録者数 146人

利用登録者数 199人

利用サービス別人数 見守り 43人 声掛け 38人  
お助け(ゴミ出し・買い物支援) 27人  
安心電話 91人

#### ④ボランティアフェスティバルの開催

市民活動センターとの共同運営による「第6回あまのわ（社協ボランティアフェスティバル×市民活動祭）」を開催し、ボランティア団体及び市民活動団体による活動紹介・展示コーナーをはじめ、ミニ講座、物販コーナー等を催し、住民参加のよるボランティア啓発活動を行いました。

◆期 日 10月22日（土）

◆来場数 約2,400人 ◆会 場 甚目寺総合体育館

令和3年度

期 日 11月20日（土）から11月26日（金）までの間

来場数 約470人 会 場 七宝産業会館

#### ○西尾張ブロックボランティアフェスティバルへの参画

西尾張ブロック内のボランティア交流や活動紹介などをはじめ、地域を超えたつながりや周知啓発を図り、また、新たな担い手発掘や活性化を目的とした「西尾張ブロックボランティアフェスティバル」が江南市にて開催され、運営等に参画しています。

◆期 日 1月22日（日） ◆会 場 すいとぴあ江南

◆参加者 ボランティア団体（1団体 1人）

令和3年度

期 日 12月18日（土）

会 場 名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）

参加者 ボランティア団体（3団体 6人）

#### ⑤ボランティア保険の加入

ボランティア保険加入者の活動中におけるケガ等による傷害保険・賠償保険の受付窓口を行いました。

◆ボランティア活動保険 1,899人

（団体 138団体 個人 91人）

◆ボランティア行事用保険 35件 ◆事故報告 1件

令和3年度

ボランティア活動保険 1,860人

ボランティア行事用保険 41件 事故報告 3件

#### ⑥災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害ボランティアセンターは、被災した地域の社会福祉協議会や関係団体が協働して設置し、ボランティアの受け入れや人数調整・資機材の貸出、活動報告の役割など運営に関わります。

そのため、被災地でのボランティア活動を効率よく推進するため、災害ボランティアセンターの設置及び役割・体制について、職員や関係団体が学びました。

- ◆期 日 3月22日(水) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館
- ◆参加者 17人  
令和3年度
- 期 日 3月16日(水) 場 所 甚目寺総合福祉会館
- 参加者 46人

## (5) 介護保険事業

### ①居宅介護支援(ケアマネジメント)

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、定期的にモニタリングを行い、適宜、事業者や関係機関との連絡・調整を行うと共に、介護サービスを利用するにあたり、介護保険認定調査を本人や家族への面接により行い、心身状況の聞き取り調査を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所  
 営業曜日 月曜日～金曜日(ただし、祝日及び年末年始は除く)  
 営業時間 午前8時30分～午後5時15分  
 種 別 居宅介護支援・介護予防支援・介護保険・要介護認定訪問調査・第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)

- ◆延べ利用数 2,572人
- ◆介護保険認定調査数 82人 ◆休日・夜間対応件数 5件
- 令和3年度
- 延べ利用数 2,570人
- 介護保険認定調査数 58人 休日・夜間対応件数 23件

### ②訪問介護(ホームヘルプサービス)

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴等の生活の支援(生活支援)を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所  
 営業曜日 月曜日～金曜日(ただし、必要と認められる場合は休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。)  
 営業時間 午前8時30分～午後5時15分  
 種 別 訪問介護・第1号訪問事業(訪問従来型サービス・訪問基準緩和型サービス)・あま市ホームヘルプサービス

- ◆延べ利用数 3,284人

令和3年度

延べ利用数 3,785人

③通所介護（デイサービスセンター）

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに、ご家族の身体的・精神的な負担の軽減等を目的として、事業所において日帰りで食事や入浴等の日常生活上の支援や生活機能向上のための機能訓練等のサービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 あま市甚目寺総合福祉会館

種 別 地域密着型通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービス及び通所基準緩和型サービス）

事業所名 あま市社会福祉協議会美和デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 あま市美和総合福祉センターすみれの里

種 別 通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービス及び通所基準緩和型サービス）

事業所名 あま市社会福祉協議会七宝デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 あま市七宝老人福祉センター

種 別 地域密着型通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービス）

◆延べ利用数 9,608人

甚目寺デイサービスセンター 2,432人

美和デイサービスセンター 5,417人

七宝デイサービスセンター 1,759人

令和3年度

延べ利用数 9,681人

甚目寺デイサービスセンター 2,093人

美和デイサービスセンター 5,696人

七宝デイサービスセンター 1,892人

(6) 地域包括支援センター（委託型）

地域で暮らす高齢者やその家族が安心して暮らせるように、福祉、医療、介護等の様々な面から総合的な支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会地域包括支援センター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

事業場所 甚目寺総合福祉会館・美和総合福祉センターすみれの里・七宝老人福祉センター

①指定介護予防支援業務

介護保険において、予防給付の対象となる要支援1・2と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防支援を実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、70件（市内29件・市外41件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用数 5,861人

令和3年度

延べ利用数 5,389人

②介護予防ケアマネジメント業務

介護保険において、介護予防・生活支援サービス事業の対象となる要支援1・2、事業対象者と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防ケアマネジメントを実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、70件（市内29件・市外41件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用数 3,287人

令和3年度

延べ利用数 3,475人

③総合相談支援事業

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援しました。

◆延べ相談数 11,141件

令和3年度

延べ相談数 11,078件

#### ④権利擁護事業

高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、高齢者虐待や消費者被害の相談対応・防止啓発、成年後見制度の利用支援・周知等を市職員及び関係機関と連携し実施しました。

◆延べ相談数 115件

令和3年度

延べ相談数 220件

#### ⑤包括的継続的ケアマネジメント事業

##### (1)サービス事業者連絡会

サービス事業者間のネットワークづくり及び、適切なサービス提供について研修するとともに、介護保険制度や社会資源についての情報提供や情報交換を行い、介護に携わる人々のスキルの向上を目指しました。

◆期 日 5月13日（金）～3月14日（火）全6回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加数 165人

令和3年度

延べ参加数 78人

##### (2)居宅介護支援事業所交流会

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジャーのネットワークづくり及びケアマネジメント業務に関する研修会を通して情報提供や情報交換を行い、スキルの向上を目指しました。

◆期 日 4月19日（火）から2月21日（火）までの全6回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加数 171人

令和3年度

延べ参加数 140人

##### (3)地域ケア個別会議

個別ケースの課題検討を行い、各分野の方々の理解と多職種間の連携を深め、その中で地域課題の発見等につながるよう会議を開催しました。

◆延べ検討数 13件

令和3年度

延べ検討数 15件

#### (7)生活支援体制整備事業（委託型）

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、高齢者

の身近な生活を支援する環境づくりを推進しました。

①相談・活動件数

◆延べ数 611件

令和3年度

述べ数 603件

②周知啓発活動

◆生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）3回

◆社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知

◆出前講座 2回

令和3年度

生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）年3回

社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知

出張講座：1回 出前講座：1回

③協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場の整備を行う。

(1)第1層協議体(あま市全域)

◆期 日 5月23日(月) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

(2)第2層協議体(七宝地区：4回・美和地区：6回・甚目寺地区：4回)

(3)協議体合同交流会

第1回

◆期 日 6月29日(水) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加数 33人

第2回

◆期 日 2月22日(水) ◆場 所 七宝産業会館

◆参加数 29人

(4)先進地視察及び交流会

○犬山市2層協議体合同交流会視察

◆期 日 10月29日(土)

◆場 所 犬山市楽田ふれあいセンター

◆参加数 職員4人、市役所職員1人

○津島市地域のつながり講演会視察

◆期 日 3月20日(月) ◆場 所 津島市文化会館

◆参加数 職員1人

(5)協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 6件(伊福地区)

令和3年度

(1)第1層協議体(あま市全域)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

(2)第2層協議体(七宝地区：3回・美和地区：3回・甚目寺地区：4回)

(3)3地区協議体合同交流会

期 日 10月12日(火) 場 所 七宝焼アートヴィレッジ

参加数 42人

(4)生活支援体制整備事業における体制や取組等に関する意見交換会

期 日 8月19日(木) 場 所 あま市役所甚目寺庁舎

参加数 12人 ※先進地である犬山市との意見交換を実施。

(5)協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 5件(伊福地区)

(8)指定管理受託事業

※就労継続支援B型及び生活介護は、障がい福祉サービスに記載しております。

①福祉センター

総合的な福祉サービスを提供するとともに、市民の健康の増進と福祉活動を助長し、社会交流及び福祉の向上を図り、各種相談、入浴、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を行いました。

名 称 美和老人福祉センター・七宝老人福祉センター

開館日 月曜日～金曜日(ただし、祝日及び年末年始は除く)

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用数 美和老人福祉センター 17,275人

七宝老人福祉センター 20,160人

令和3年度

延べ利用数 美和老人福祉センター 30,375人

七宝老人福祉センター 31,449人

中止期間 5月12日から5月31日、8月29日から9月26日

4月から9月の間は、ワクチン接種会場のため午後休館

②地域福祉センター

あま市甚目寺総合福祉会館内において、地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた各種相談、入浴・給食サービス等の活動の場を提供し、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を行いました。

名 称 地域福祉センター(あま市甚目寺総合福祉会館内)

開館日 月曜日～土曜日(ただし、祝日及び年末年始は除く)

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後5時

◆延べ利用数 14,677人

令和3年度

延べ利用数 7,662人

中止期間 5月12日から5月31日、8月29日から9月26日  
6月から9月の間は、ワクチン接種会場のため午後休館

### (9) 障害相談支援事業

市からの受託による一般相談を行うと共に、指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業として、身体・知的・精神に障がいのある方及び難病の方等を対象に日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談等の支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所

事業内容

- ・総合的な相談支援
- ・福祉サービスの利用援助及びサービス等利用計画の作成
- ・社会資源を活用するための支援
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・生活の継続に必要な直接的な支援
- ・専門機関との連携・紹介
- ・障害者総合支援協議会への協力

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ相談数 4,484件

◆相談実人数（内訳）

|          |       |      |      |       |
|----------|-------|------|------|-------|
| 身体障がい    | （障がい者 | 106人 | 障がい児 | 20人）  |
| 重症心身障がい  | （障がい者 | 1人   | 障がい児 | 2人）   |
| 知的障がい    | （障がい者 | 157人 | 障がい児 | 136人） |
| 精神障がい    | （障がい者 | 202人 | 障がい児 | 14人）  |
| 発達障がい    | （障がい者 | 12人  | 障がい児 | 48人）  |
| 高次脳機能障がい | （障がい者 | 5人   | 障がい児 | 0人）   |
| 難病       | （障がい者 | 16人  | 障がい児 | 4人）   |

令和3年度

延べ相談数 4,117件

相談実人数（内訳）

|         |       |      |      |       |
|---------|-------|------|------|-------|
| 身体障がい   | （障がい者 | 108人 | 障がい児 | 18人）  |
| 重症心身障がい | （障がい者 | 4人   | 障がい児 | 3人）   |
| 知的障がい   | （障がい者 | 175人 | 障がい児 | 129人） |

|          |       |      |      |      |
|----------|-------|------|------|------|
| 精神障がい    | (障がい者 | 192人 | 障がい児 | 19人) |
| 発達障がい    | (障がい者 | 9人   | 障がい児 | 30人) |
| 高次脳機能障がい | (障がい者 | 15人  | 障がい児 | 1人)  |
| 難病       | (障がい者 | 10人  | 障がい児 | 4人)  |

◆障害支援区分認定調査数 85人

令和3年度

障害支援区分認定調査数 107人

## (10) 障害福祉サービス事業

### ①就労継続支援B型

雇用されることが困難な知的障がいの方に社会参加の場を提供し、生産活動及び生活指導等の支援を行いました。

また、七宝福祉作業所は、令和5年3月31日をもって廃止となりました。

事業所名 あま市くすのきの家（主たる事業所）

あま市美和ひまわり作業所（従たる事業所）

あま市七宝福祉作業所（従たる事業所）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用数 6,246人

くすのきの家 3,819人

美和ひまわり作業所 2,427人

七宝福祉作業所 0人

令和3年度

延べ利用数 6,993人

くすのきの家 3,550人

美和ひまわり作業所 2,627人

七宝福祉作業所 816人

### ②生活介護

常時介護等を必要とする知的障がいの方が、安定した生活を営めるように、創作活動や日常生活訓練を中心としたプログラムを提供し、介護や日常生活上の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（西館）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用数 1,854人

令和3年度

延べ利用数 1,934人

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援

障がい福祉サービスの居宅介護として食事・入浴・排泄介助の身体介護サービスや調理・清掃・洗濯の家事援助サービス等を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、必要と認められる場合は、休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ利用数 1,545人

令和3年度

延べ利用数 1,645人

④基準該当生活介護

介護保険法による指定通所介護事業者として、地域において生活介護が提供されていないこと等により、生活介護を受けることが困難な障がい者に対して、通所介護サービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

事業場所 甚目寺総合福祉会館

提供時間 午前9時50分～午後4時

◆延べ利用数 49人

令和3年度

延べ利用数 46人

⑤地域活動支援センター

障がい児者が地域において、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業所において、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ると共に、日常生活を送る為に必要な日常生活上の支援や生活機能向上のための機能訓練等のサービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ利用数 100人

令和3年度

延べ利用数 97人

(11) 総合相談・生活支援事業

①心配ごと相談

民生委員・児童委員・主任児童委員が相談員となり、第1木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、第2木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、第3木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて、午前10時から正午までの時間帯で広く地域住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、社会資源を有効に活用できるように適切な助言を行いました。

◆延べ相談数 18件

甚目寺総合福祉会館 10件

美和総合福祉センターすみれの里 7件

七宝老人福祉センター 1件

主な相談内容：家族・土地・老後の暮らし方等

令和3年度

延べ相談数 9件

甚目寺総合福祉会館 4件

美和総合福祉センターすみれの里 2件

七宝老人福祉センター 3件

中止期間 5月12日から5月31日、8月29日から9月26日

また、愛知県弁護士会に委託し、相談者に対して予約制で、第1・3木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、第2木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、第4木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて、専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談数 163件

甚目寺総合福祉会館 86件

美和総合福祉センターすみれの里 41件

七宝老人福祉センター 36件

主な相談内容：相続・離婚・住宅・金銭トラブル等

令和3年度

延べ相談数 146件

甚目寺総合福祉会館 77件

美和総合福祉センターすみれの里 35件

七宝老人福祉センター 34件

中止期間 5月12日から5月31日、8月29日から9月26日

②司法書士による相続・登記相談

愛知県司法書士会と共同主催にて事業を実施し、相談者に対して予約制で、奇数月の第4木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、偶数月の最終木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、奇数月の第2

木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談数 42件

甚目寺総合福祉会館 13件

美和総合福祉センターすみれの里 18件

七宝老人福祉センター 11件

主な相談内容：相続・登記・民事一般等

令和3年度

延べ相談数 42件

甚目寺総合福祉会館 12件

美和総合福祉センターすみれの里 22件

七宝老人福祉センター 8件

中止期間 5月12日から5月31日、8月29日から9月26日

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活に不安を抱える認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者の方に対して、専門員及び生活支援員が、福祉サービスを利用する支援を行いました。

また、愛知県社会福祉協議会と連携して、円滑に自立支援サービスを提供しました。

◆契約実人数 11人

令和3年度

契約実人数 5人

(12) 貸付事業

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等に対して、低利息または無利子で資金貸付と民生委員等による必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加の促進を図りました。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、休業などにより収入減少があり、一時的な生計維持のための緊急小口資金特例貸付と失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった場合に総合支援資金特例貸付により対応しました。

◆新規利用数 3件（教育支援資金） 相談数 9件

80件（緊急小口資金） 相談数 82件

42件（総合支援資金） 相談数 43件

令和3年度

新規利用数 1件（教育支援資金）

360件（緊急小口資金） 相談数 368件

332件（総合支援資金） 相談数 306件

②くらし資金貸付事業

生活の不安定な低所得世帯に対して生活を保全し、経済的自立を助長しましたが、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を優先利用して活用いただいたため、実績はありませんでした。

◆新規利用数 0件

令和3年度

新規利用数 0件

③市つなぎ資金貸付事業

市内に居住する生活保護申請者及び被保護者に対して保護費支給までに、必要なつなぎ資金及び不時の出費の為に必要な資金を無利子で貸付けました。

◆新規利用数 23件

令和3年度

新規利用数 25件